

1 審議会名	上田中央地域協議会
2 日 時	平成31年4月16日 午後1時30分から午後3時00分まで
3 会 場	中央公民館2階 第1会議室
4 出席者	天田委員、伊藤委員、岡部委員、金井委員、小林委員、瀬下委員、谷藤委員、中澤(純)委員、中澤(健)委員、成澤委員、羽原委員、古川委員、丸山委員、宮本委員、望月委員、山浦委員
5 市側出席者	【事務局】小泉中央地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、大滝中央地域担当主査、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成31年4月22日

協 議 事 項 等

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議

(1) 中央地域の地域課題について

【テーマごとに分かれ意見交換】

○第1分科会：「交通問題について」

- ・ 前回の分科会にて出た意見等について協議するとともに次の内容について協議した。
- ・ バス会社と市が一同に会し、運行状況などを情報共有した上で、市の主導により、効果的かつ効率的な運行となるよう改善を図るのはどうか。
- ・ バスの利用方法(乗り方、料金の支払い方など)を知らないことも、利用しない一理由ではないか。小中学校の授業や、イベントなどでバスなど公共交通の利用方法など教えるとよい。
- ・ バス利用者を増やさないと、路線廃止、便数減少となり、高齢者など交通弱者にとって生活に大きな支障が出る。バス利用者を増やすには、まずはバスの利便性を感じてもらう必要がある。市が恒例で開催するイベントに、バスを利用して参加する仕組みづくりをしてはどうか。
- ・ 公共交通を利用する市民としても、市の公共交通の現状に関心を持つ必要がある。
- ・ バスに乗ってもらうため、市やバス会社、旅行会社などが「路線バスの旅」を企画してはどうか。

○第2分科会：「空家・放棄地問題について」

- ・ 議事録のメモをもとに、3月1日の会議の内容を確認した。
- ・ 小林委員作成の資料をもとに話し合いを行った。
 - ① 空家対策としての基本的な考え方
 - ② 具体的な対策として、総合窓口の設置を要望していく。
 - ③ 「空家見守り」コミュニティー事業検討。
 - ④ 中央地域に、まちづくりの視点から空家問題を具体的に解決すべく、「中央地域まちづくり協議会」を設置することを提案していったらどうかとの意見が出され、今後検討を重ねていく。
 - ⑤ 市の「空家対策室」の話を知りたいとの意見が出された。

○第3分科会：「ゴミ問題について」

- ・新メンバーに対し、これまでの会議内容の説明。
- ・提言へ向けて次の3点を柱として意見交換し集約を図ることの確認。
 - ①ごみ減量アイデア集
 - ②高齢者等へのゴミ出し支援（ごみ回収ボランティア）
 - ③生ゴミの減量化
- ・その他、分別が難しいのではとの意見もあり、周知はしているが、浸透できていない現状についての悩みが共有されました。
 - ①他市や他県とは異なることが多く、転入者が慣れるまでは時間がかかる。
 - ②プラゴミの理解が誤っている。

(2) その他

(事務局より)

- ・委員3名変更について
- ・今後の日程について（わがまち魅力アップ応援事業審査等）

4 その他

(1)当面の日程

第1回	： 5月21日（火）	13:30 から	（会場	： 市民プラザゆう	2階大会議室）
第2回	： 6月18日（火）	13:30 から	（会場	： 中央公民館	）
第3回	： 7月10日（水）	13:30 から	（会場	： 未定）	

5 閉 会